

図書館だより



no.231

2021(令和3)年7月15日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Te1 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fcs.ed.jp/>

図書館からのお知らせ

2月に発生した地震の影響により、座席の利用を制限しており、ご不便をおかけしておりましたが、一部を開放いたします。

なお、引き続きコロナウイルス対策へのご理解とご協力をお願いいたします。

当館のサービス紹介

○受取館指定サービス○

県立図書館の資料を当館ホームページ上で予約して、一部の県内市町村図書館で受け取ることができるサービスです。

※福島県立図書館の利用登録及び、ネットサービスのご利用(パスワード、メールアドレスの登録)が必要です。 詳細はHPをご確認ください。

おはなしかいのご案内

アートなおはなしかい

福島県立美術館と連携したおはなしかいです。おはなしかいのほか、美術鑑賞会と工作も行います。

7月24日(土) 14:00~15:30

定員8名(組)事前申込 対象:5歳~小学生

講師:図書館司書・美術館学芸員

世界のことばでのおはなしかい

みんないっしょに ~GC Café for Kids~

外国出身の方と一緒に日本語、韓国語、英語で絵本の読み聞かせを行います。

8月28日(土) 11:00~11:30

定員20名事前申込 対象5歳~中学生

講師:福島県国際課国際交流員

≪展示のご案内≫

【9月1日(水)まで】

○企画展示 企画展示コーナー

「日本で開催されたオリンピック・パラリンピック
~History of the Olympics and Paralympics~」

○ロビー展示 センターホール

「YA(ヤングアダルト)の本」

○ミニ展示

「おばけの絵本」

子育て支援コーナー

「中原淳一と『少女の友』」

センターホール



○時事展示

「子どもたちの教科書を見てみよう！」

時事展示コーナー

【8月4日(水)まで】

○ミニ展示

「涼む」

軽読書コーナー

「かがくのとも」

こどものへや 絵本コーナー



福島県立美術館で行われる展覧会

「ミネアポリス美術館 日本絵画の名品展」

に合わせたミニ展示も9月1日(水)まで開催中です!

「雑誌で親しむ日本の絵画」 調査カウンター脇

「日本絵画」 センターホール

「福島ゆかりの画家たち」 地域新着資料コーナー脇

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『新版 名作椅子の由来図典』 西川 栄明／著 誠
文堂新光社 2021.4 758.02/ㇿ119/3

現在、現物で残る最古の椅子は、紀元前 5500～7000
年頃（新石器時代）に作られました。人類が二足歩行
を始めてから椅子と人間の歩みは深く関わっていま
す。また、歴史や文化によってその系統は多岐に渡り、
古代エジプトの王様の椅子からチャールズ・イームズ
等の個人作家によるデザインや機能性を追求したも
の等、椅子のもつ意味も時代と共に変化しています。

本書は、そんな知られざる椅子のあれこれを 380
点のイラストに加え、年表、系統図、人名索引で詳し
くまとめてます。また、2015 年の増補改訂版より判
型が A5 から B5 に、内容も 32 ページ増えています。

『ウナギが故郷に帰るとき』 パトリック・スヴェン
ソン／著、大沢 章子／訳 新潮社 2021.1
487.66/ㇿ211

日本に暮らしている私たちにとって、身近な存在で
あるウナギ。不思議なことにその生態は遠い昔から謎
に包まれていました。

本書では、多くの科学者たちが長い時間をかけてヨ
ーロッパウナギの一生を解明しようとしてきた歴史
を中心に、著者の少年時代のウナギ釣りの思い出や、
ウナギ漁師たちの奮闘、文学の中のウナギ、日本のウ
ナギ産業などが語られています。

古代ギリシアの時代から人々を惹きつけてきたウ
ナギの魅力が感じられる 1 冊です。

『縁食論：孤食と共食のあいだ』 藤原 辰史／著
ミシマ社 2020.11 383.8/ㇿ20Y

「孤食」「食育」「子ども食堂」。「食」に関する出来
事は、他の「衣」や「住」に比べても世の中の動きを
敏感に反映しています。本書では食や農に関する論考
を多くしている著者が、人と食を通じて緩やかにつな
がる「縁食（えんしょく・ふちしょく）」のあり方を
踏まえて、古今の「人と食」にまつわるあれこれにつ
いて、硬軟織り交ぜながら綴っています。

コロナ禍で人と食を通じて交流することの難しい
時期ですが、この機会に、皆さんの食も見直してみ
てはいかがでしょうか？

児童・児童図書研究

『世界で読み継がれる子どもの本 100』 コリン・ソ
ルター／著、金原 瑞人／訳、安納 令奈／訳 原書
房 2020.10 J019.5/ㇿ

子どもの本を内容や作家、当時の時代背景等を交えて
100 点紹介しています。ここでいう「子ども」は乳幼
児からヤングアダルトまで、幅広い世代を指していま
す。そのため解説されている作品も「うさこちゃん」
シリーズのようなロングセラーの絵本だけではなく、
『ハンガーゲーム』のような話題になり、映画化され
た小説など多岐にわたります。

雑誌・新聞

今年度から県立図書館で新たにご覧いただける雑
誌をご紹介します。是非ご利用ください。

『からだにいいこと』第 17 巻第 3 号、通巻第 191 号、
2021 年 6 月号、Z/498.3/K1

『CAPA』第 41 巻第 6 号、通巻 490 号、
2021 年 6 月号、Z/740.5/C1

7 月 14 日に第 165 回芥川賞・直木賞が発表されま
した。芥川賞候補作が掲載された文芸誌の最新号をご
紹介します。

『群像』第 76 巻第 8 号、2021 年 8 月、Z/905/G1

→候補作が掲載されたのは 2021 年 4 月号、6 月号

『新潮』第 118 巻第 7 号、2021 年 8 月、Z/905/S1

→候補作が掲載されたのは 2021 年 3 月

『文学界』第 75 巻 7 号、2021.8 月号、Z/910.5/B2

→候補作が掲載されたのは 2021.3 月号

『すばる』第 43 巻第 8 号、2021 年 8 月、Z/910.5/S16

→候補作が掲載されたのは 2021 年 3 月

地域

『会津の絵画 福島県立博物館収蔵品を中心に』
福島県立博物館／編 福島県立博物館 2021.3
L069/F3/101

本書は福島県立博物館で行われた企画展「会津の絵
画 ～福島県立博物館収蔵品を中心に～」(会期：令和
3 年 4 月 24 日～6 月 27 日)の展覧会図録です。雪村
周継や佐竹永海、坂内青嵐など、さまざまな会津ゆか
りの画人たちの絵画を楽しむことができます。解説も
豊富なので、ご自宅でゆっくりと、心行くまで味わっ
てみてはいかがでしょうか。

『二本松の戊辰戦争 時代の激流にほんろうされた
二本松藩と人々』 二本松市教育委員会／編 二本
松市教育委員会 2021.3 L212/N14/1

幕末から明治の二本松における戊辰戦争について、
分かりやすくまとめられた 1 冊です。中学生が理解し
やすい内容の読本として編集されており、豊富な写真
や地図とともに、多数の史料を引用しながら解説がさ
れています。二本松藩内の動きや領内の戦い、二本松
少年隊、戦後の二本松の流れなど、誰にでも分かりや
すく、かつ詳しくまとめられています。巻末には戦没
者名簿などを含む資料編も収録されています。